

日刊 動労千葉

80.4.21
NO.408

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話(二五八)九・公巻(三三)二七二〇七

46回支部代表
者会議 開かる

『津田沼特別班』を解体、一掃せよ!

80春闘を叩いぬいた力で 佐倉支部オルグを強化しよう!

4月19日、13時より動力車会館において動労千葉才六回支部代表者会議が開かれ、「80春闘四月決戦ストをめぐる経過と中間総括」について討議し、「当面の取組み」として、①「本部」津田沼特別班なるものの解体・一掃の叩いの強化。②佐倉支部オルグの強化 ③結成一周年記念行事の成功について確認決定された。

「80春闘の中間総括と 今後の叩いの方向性」を討議

本部側より「80春闘四月決戦ストをめぐる経過と中間総括」について報告・提起された。

〈情勢〉

①政府・支配階級の政治反動攻撃が一層激化する中で、公労協・私鉄・交運に対する分断・解体など労仲運動圧殺攻撃が激化。②政府・支配階級の意を受けた同盟・JCIの右翼的労線統一攻勢の前に「8%要求」をもつて身をすり寄せ、屈服する総評民同指導部。③公労季労仲者側委員辞任スト中止―公労協の賃金未決定という結末をもつて、鉄鋼↓私鉄↓公労協という民間路線の基盤である賃金決定パターンが崩れ去ったこと。

〈「本部」の敵対〉

④動労「本部」革マル前(4月14日)の「津田沼特別班」の示し上げと津田沼拠点への暴力襲撃(4月15日)にみられるスト破壊・80春闘破壊攻撃。さらにこの襲撃を粉砕され失敗するや、「動労千葉を弾圧してくれ」と権力・当局に行きつく卑劣さ。

〈動労千葉の叩い〉

⑤国鉄本社・公労季への登場をとおして中央政治の中に動労千葉の叩いを無視できない状況をつくり出した。⑥4月15日津田沼にみられる「本部」革マル反動分子の権力・当局一体となった暴力襲撃を完全に粉碎し、断乎ストを貫徹した。⑦結成まもない佐倉支部が4月15、16の80

春闘決戦に参加し、一部反動分子を追いつめていく。⑧4月17日京成闘争支援24H減産闘争を叩い抜く。⑨三里塚・ジミット・反合闘争を叩う動労千葉の路線的正義性に一層確信を深めて前進しよう。以上の各点について提起され、さらにつぎのような当面の取組みについて提案され、全体で確認された。

当面のとりくみについて

- ①「津田沼特別班」を解体・一掃しよう。
- ②七名の裏切り者はもとより「本部」革マル反動分子の反階級性は満天下に明らかとなった。当局の先女である。③暴力襲撃やスト破り、当局に守られたスト、動労千葉への弾圧を権力当局にたのみ込むなど、「本部」派のやっている事は断じて許せない反労仲者的・敵対行為である。
- ④従って「本部」津田沼特別班の解体・一掃行動を全ゆる場、社内で全力で強力に取り組む。
- ⑤佐倉支部オルグを強化する。
- 一人の脱落も出さず全員が佐倉支部に結集するよう全支部・分科会のオルグを展開する。

③結成一周年記念行事を成功させよう。

①記念講演集会和レセプション

日時 5月17日13時より、場所 労働者福祉センター大ホール、講師 浅田光輝氏、レセプション 各界によびかける。

②サークル協記念行事

4月30日「ソフトボール大会」。5月10日「ボリカ大会」。5月17日「園芸・美術展示会」。5月14日「卓球大会」。6月7日「囲碁将棋大会」。6月18日「野球大会」。5月下旬〜6月上旬「組合員家族ハイキング」。